

博士課程教育リーディングプログラム現地視察報告書(平成27年度)

博士課程教育リーディングプログラム委員会

機関名	山梨大学	整理番号	F04
プログラム名称	グリーンエネルギー変換工学		
プログラム責任者	杉山 俊幸	プログラム コーディネーター	内田 裕之
<p>1. 進捗状況概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を着実に実施しており、全学をあげた体制整備が確実に行われている。 ・計画されたプログラムは、他大学からの優秀な学生確保や事業の定着・発展など一部の面で課題が残るものの全体としては順調に実施されている。 ・グローバルインターンシップ制度や学生の自主的運営参加による国際セミナーの実施など、多くの国際的な取組がなされておりグリーンエネルギー分野においてグローバルに活躍するリーダーの養成が期待される。 <p>○リーダーを養成する学位プログラムの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位プログラムの整備についてはメジャー・サブメジャー制度の導入、オンデマンド講義の活用などが行われており、リーダーを養成するために必要なプログラムが適切に実施されている。 ・研究指導については専門分野の枠を超えた研究指導が行われ、学生は多様な思考方法、研究の進め方を学べる体制になっている。 <p>○産学官参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内外の産学官から多くの機関が本プログラムに参画しており、講義のみならず修士論文審査、中間審査にも外部から参画しており、幅広い知識の定着と応用力の育成が行われている。 <p>○グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外 17 機関とグローバル協働教育ネットワークが形成され、このネットワークが相互協働教育、グローバルインターンシップ、国際セミナーなどに活用されておりグローバルリーダーの養成に役立っている。 ・英語授業、国際シンポジウム、研究室間英語交流会、留学など国際感覚を習得させるための多くの教育努力がなされている。 <p>○優秀な学生の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年度ともに定員をほぼ満たす学生が確保されている。しかし、国内他大学からの進学者が少ない点と前期課程修了時に就職する学生が多い点が懸念される。 <p>○世界に通用する確かな質保証システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①中間審査②博士適性審査③学位審査（英語）の 3 段階からなる厳格な学位審査体制が構築・実施されており、特に国内外外部連携機関からの審査参画は世界に通用する確かな質保証システムにつながる事が期待される。 <p>○事業の定着・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の定着については学長を中心とした全学をあげたマネジメント体制が構築され、企画・運営・評価体制は整っている。 ・支援期間終了後の事業継続策については種々の検討がなされているが、特に財源問題については早急な具体的プランの構築が必要である。 			

2. 意見（改善を要する点、実施した助言等）

- 優秀な学生の確保については国内他大学からの進学者が少ないように見受けられ、山梨大学グリーンエネルギー変換工学というプログラムの特徴や魅力をもっと PR することが望まれる。
- 本リーディングプログラムは 5 年一貫教育が基本姿勢であり、前期課程修了時点で就職していく学生が多いのは改善を要する点である。
- 支援期間終了後の本事業の継続にあたって、特に財源確保は全てのプログラムに共通する課題であるが、本プログラムは是非ともに継続すべきものであり、産業界との連携を含めた具体的プランを早急に作成することが肝要である。